

委託

マンガライツ担当者育成プログラム:CORP(Creative Overseas Resources for Publishing)

(実施団体:株式会社角川メディアハウス)

目的・目標

本事業では、特に北米市場を中心に、ライセンス交渉、翻訳・ローカライズ、現地プロモーションなどの知識と経験を持ち、自ら契約交渉を主導できる人材の育成を目的とする。
3年間で日米同時出版・配信の実現に向けた体制やノウハウの基盤を整備し、4年目以降の実装を目標としている。

概要

本事業は、グローバルなマンガ市場におけるビジネス展開を担う“ライツ人材”の育成を目的とし、特に北米市場における実務能力の強化を図るものである。国際的なビジネス環境において求められる、契約・交渉・市場理解等のスキルを体系的に習得できるよう、国内外での講義・演習・現地研修・商談実践を含む段階的な育成カリキュラムを整備・実施する。
※本プロジェクトは、一部をマンガ編集者育成プログラムCORE（実施団体：(株)コアミックス）と共同で進行する。

(区分・分野)

・マンガ

(対象となる職種)

・マンガライツ担当者

(育成人数)

・15名/3年

3年目までの取組

国内講義・ワークショップで北米マンガ市場や流通の現状を学び、どのような作品が求められているか理解する。さらに派遣プログラムではAnime ExpoやNYコミコンといった国際商談会に参加し、実践的な商談力を習得。各年度末に成果報告を行い、事業継続のための振り返りと次期人材育成プログラムの内容策定につなげる。



5年目までの取組



令和7～9年度の修了者を次期プログラムで指導補助やメンターとして活用し、国内セミナー登壇や北米研修支援、成果報告会での知見共有を通じて人材循環と横の連携を促進する。また、アンケートや成果を基にカリキュラムを再設計し、法務契約や日米市場分析など実務的要素を強化。さらに令和10年度には日米同時出版を見据え、出版社内の編集、ライツ、営業、宣伝の各部門、そしてエージェントや流通会社と連携し、翻訳・製本・宣伝工程の調整を行い、国際市場での展開基盤を整える。

成果目標（見込）

目標値

コンテンツ創造・海外展開のための実践的な育成プログラムの開発・実装数	3年目：15件 5年目：21件
国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数	3年目：37件 5年目：45件
育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設等へ出品・参画し高い評価を受けた件数	3年目：4件 5年目：6件
育成プログラムの実証に参加した人数	3年目：15人 5年目：35人

中核となる指導者等

- ・垣貫真和 (株)角川アスキー総合研究所代表取締役社長
海外事業(角川グループ海外出版子会社の統括責任者)、ライセンス事業(海外子会社および海外出版社等に対するライセンスアウト)を歴任した。
- ・荻野千草 (株)タトル・モリエイジェンシー顧問
海外にて多くの日本IP著作権展開事業に従事。ロッテルダム港日本代表事務所『デア シュピーゲル』東京特派員事務所にて勤務した経歴を持つ。



国際的な場での実践の取組例

- ・NYコミコン（ニューヨーク）（1年目10月）
マンガ・アニメを含む多彩なポップカルチャーが集まる、NY発の世界的イベント。
- ・アニメ・エキスポ（ロサンゼルス）（2年目7月）
マンガ・アニメファンが世界中から集う、北米最大級のエンタメコンベンション。



ANIME EXPO®
2026

実施体制

